



北米で見られた日食

テレビやネットで話題になったので、4月9日（現地時間では8日）の皆既日食の事は、みなさんご存知のことと思います。日本からも多くの日食ファンが渡米して4分余りの天文ショーを楽しみました。地球上の一所に居て皆既日食が見られる確率は、人の一生のうちで一度あるか無いかと言われるほど珍（めづ）らしい現象（げんしょう）なのですが、地球上では年に数回起こっています。でも、それは海の上だったり、北極（きょく）や南極などとても行ける場所ではなかったりと、海外旅行を前提（ぜんてい）としても、今回のように場所の条件（じょうけん）の良い皆既日食は数年に一度ということになります。



北米（アメリカ）で見られる日食は、2017年（いらい）以来7年ぶりです。アメリカは、よほどの地方へ行かない限り、交通や宿泊施設（しゆくはくしせつ）は充実（じゅうじつ）しています。つまり、天気予報（よほう）に合わせて直前に観測地（かんそく）を決定（かのう）することが可能です。それに、何よりプラネタリウム館（せま）の数が世界一で、その見学も楽しみの一つでしょう。

この写真は、アメリカ中西部アーカンソー州ラッセルビルという町（さつえい）で撮影（てんけい）しました。テキサス州の大都市ダラスから車で5時間ほど北上した典型的な田舎町（いなか）です。それだけに、町の外からの訪問者（ほうもん）は大歓迎（かんげい）で、日食グッズや土産物（みやげ）のショップが広場（せま）に所狭（せま）しと並んでいました。

次（じょうけん）回の条件（たい）の良い日食は2028年のオーストラリアで見られるもので、大都市シドニー（かんとう）が皆既帯（たい）の中心（かんとう）にあります。日本では2035年9月、北関東（かんとう）で見られます。楽しみに待ちましょう。

2024年4月24日記

（解説員：田部一志）